

災害対策推進・教育センター

VOL.07 2023 年 4 月号

Topics

3/25 市民公開講座を開催しました

3月25日（土）、『これだけは知っておきたい！南海トラフ大地震の津波への備え』をテーマとした市民公開講座と『もしもに備える学びの場 救命と救護の体験会』を開催しました。応急手当や一次救命処置、非常時のバッククッキング等について学べるブースとともに防災ヘリやドクターヘリ、災害支援車等の見学会も行いました。講座と屋内体験会には216名、屋外の見学会には200名もの方々にご来場いただき、普段あまり目にすることのない防災ヘリやドクターヘリの登場に会場は賑わい、多くの子供たちが消防服を体験したりして目を輝かせていました。

市民公開講座



公開講座では、当院と地域の防災専門家により一般的な防災についてだけでなく、病院機能や感染対策など様々な視点からの講演を開催しました。その後のパネルディスカッションでは、「担架がない時の応急救護の作り方」、「胸骨圧迫はどれくらいの強さですればよいか」、「外出先での災害対策」等が紹介されました。

見学会



みんなで掛け声！



市民公開講座終了時（講師・参加者の皆さん）

三重県知事、津市長、
病院長、医学部長、講師の皆さん



受付の様子



体験会



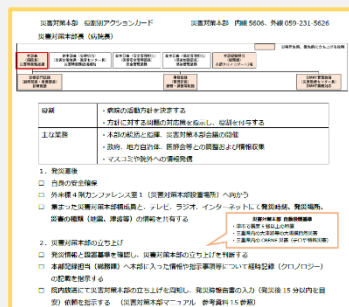
Topics

3/14 災害対策本部アクションカードの 読み合わせ机上訓練を行いました

災害対策本部役割別アクションカードを作成し、防災会議・WGのメンバーで6班に分かれ、全員が災害対策本部長（病院長）の役として読み合わせ訓練を行いました。



本部 AC【災害対策本部長（病院長）】一部抜粋



Topics

災害対策マニュアル(Ver.3.0)発刊しました

災害対策マニュアル（Ver.3.0）を発刊しました。4月中旬に冊子を配布予定です。ホームページからも確認できますので、一度目を通してみてくださいね。（アクセス方法：右上参照）

かわら版ではマニュアルから抜粋した防災に関する豆知識・コラムをご紹介します。

知っていましたか？

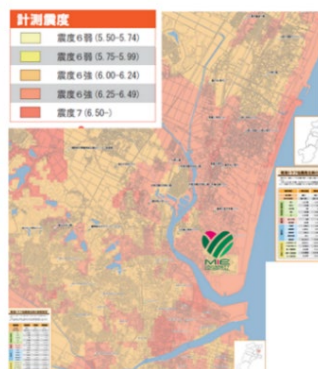
最大クラスの南海トラフ大地震発生時における三重大学病院周辺の被害がどのくらいかを皆さんご存じですか。

三重大学病院周辺は**震度6強**の地震が起こると想定されています。

【三重大学病院自主登院基準】

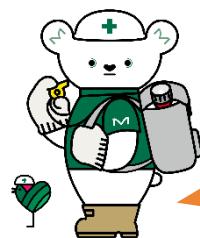
当院における職員の自主登院基準は津市内で**震度5強以上**の地震が発生した時です。

災害対策マニュアル Ver.3.0 p37 参照



（津市防災マップ一部改変）

災害対策マニュアル Ver.3.0 参考資料 4 一部抜粋



Face

三重大学病院
公式オリジナルキャラクター
ミーベ&ミッピ（防災版）です！

当院には公式オリジナルキャラクターがいるのをご存じですか？

ミーベ（右）とミッピ（左）です。

今回はヘルメットをかぶった**防災バージョン**で登場してもらいました。

皆さんもミーベたちと一緒に防災について勉強していきましょう！

マニュアルは院内 HP・MINT 2 からご覧いただけます。

マニュアルへのアクセス方法一例



震度とゆれの状況

震度6強のように、大きな地震が発生した時、ゆれをどのように感じ、周辺ではどのような現象や被害が生じるでしょうか。気象庁が発表している震度階級の表で確認してみましょう。



災害対策マニュアル Ver.3.0 巻末資料 1 参照

リーフレット「その震度、どんなゆれ？」気象庁 HP より一部抜粋

Center Message

新入職員の皆さん、ご入職おめでとうございます。当センターでは、院内防災に関する各種マニュアルの作成・見直しを行っています。災害対策マニュアル、火災対応マニュアル、災害対策本部マニュアル、さつき保育園からの津波避難誘導ヘルプマニュアル等があります。配られた冊子、または病院ホームページからも確認できますので一度目を通してみてくださいね。また、当センターでは職員の防災教育にも力を入れており、年間で20回以上の防災訓練を行っています。4月7日（金）の新入職員研修ではさっそく、通報訓練、消火栓消火訓練、消火器消火訓練を行う予定です。このかわら版では、そういった防災訓練のお知らせや報告を毎月紹介していきますので、今後もぜひご覧ください。（センター長 岸和田）

災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して